

令和7年鳥獣被害調査結果報告

イノシシにご用心!!

市内では、イノシシやニホンザル、ニホンジカなどの鳥獣による農作物の被害が大きくなっています。市では毎年、有害鳥獣の捕獲、防護柵の設置とともに、各地域における被害状況の調査を行い、実態把握に努めています。

鳥獣被害調査結果

令和7年の被害総額は、前年から1510万円減の1853万円（前年比55・1％）となりました。

市全体の被害率（被害戸数／回答戸数）は27・7％、一戸当たりの被害額は、24086円となりました。市全体の被害率は減少し、一戸当たりの被害も減少しました。

地域別の被害額は、1地域（和良）で増加し、6地域（八幡、大和、白鳥、高鷲、美並、明宝）で減少しました。大和は前年比61・1％と6年連続で被害が減少し、高鷲は25・3％、美並は33・9％と被害が減少しました。なお、八幡の被害額は485万円と、最も大きい値と

なりました。

【表①参照】

鳥獣別被害額は、イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルの被害が多く、中でもイノシシ701万円（前年比113・2％）と増加しており、全体の被害の約4割を占めています。

一方で、ニホンザルは374万円（前年比34・7％）と前年より被害が減少しました。

【表②参照】

作物品目別は、水稻の被害額が増加し、892万円と多い結果になりました。それ以外の作物は、すべての被害額が前年より減少しました。

【表③参照】

【表②】 鳥獣別被害額

(単位：万円)

鳥 獣	令和6年	令和7年
イノシシ	619	701
ニホンザル	1,079	374
ニホンジカ	873	497
カモシカ	391	119
小型哺乳類(ハクビシン等)	212	78
カラス	140	68
その他	49	16
合 計	3,363	1,853

【表③】 作物品目別被害額

(単位：万円)

品 目	令和6年	令和7年
水稻	790	892
根菜類(大根、人参等)	498	184
葉茎菜類(白菜、ネギ等)	185	47
洋菜類(ブロッコリー等)	12	2
果菜類(カボチャ、トマト等)	553	283
豆類(大豆、インゲン等)	135	13
土物類(ジャガイモ等)	242	128
花卉類(南天等)	179	90
果物類(栗、柿等)	237	116
その他(牧草等)	532	98
合 計	3,363	1,853

【表④】 有害鳥獣の捕獲状況

(単位：頭)

鳥 獣	令和6年度	令和7年度
イノシシ	290	268
ニホンザル	261	240
ニホンジカ	3,960	2,709
合 計	4,511	3,217

※狩猟期中の個体数調整を含んでいます。

【表①】 地域別被害額

(単位：万円)

地域	令和6年	令和7年(被害率)
八幡	733	485(42.2%)
大和	504	308(22.8%)
白鳥	296	191(19.8%)
高鷲	598	151(27.6%)
美並	463	157(27.4%)
明宝	559	227(48.3%)
和良	210	334(21.8%)
合計	3,363	1,853
被害戸数	952戸	769戸
一戸当たり被害額	35,328円	24,086円
回答率	57.8%	55.1%
被害率	32.7%	27.7%

※調査対象：市内在住の農事改良組合員

配布：5,043戸 回答：2,777戸

※被害額：被害面積(数量)×作物の基準単価

※一戸当たり被害額：被害額／被害戸数

※被害率：被害戸数／回答戸数

【表④参照】

過去4年間の被害額は3000万円前後で推移していますが、令和7年は1853万円に減少しました。これは、実施隊(猟友会)による捕獲、防護柵の設置や追い払い等の地域ぐるみの対策による一定の効果ができていると思われると思います。

67・1835

引き続き防護柵等の対策をお願いします。



表①～③
 ▼調査期間：令和7年1月1日から令和7年12月31日
 ▼調査対象：市内全農家(各地区の農事改良組合に所属する農家)
 ▼調査方法：農事改良組合長を通じて調査票を各農家へ配布し、農産物の被害の有無、被害面積(被害量)等を報告していただきます。

市の鳥獣被害対策について

市では、農作物の鳥獣被害対策として、防護柵の設置や補助の他、有害鳥獣の捕獲に対する補助などを行っています。

令和7年度の主な鳥獣捕獲数は、ニホンジカは2709頭、イノシシは268頭、ニホンザルは240頭となり、捕獲頭数、被害ともに減少しました。今後も被害を減少させていくためにも、継続して捕獲を行う必要があります。

【表④参照】